

## 東芝LED照明器具取扱説明書

対象器具	明るさ FCL30タイプ		明るさ FCL20タイプ	
	昼白色 (5000K)	電球色 (2700K)	昼白色 (5000K)	電球色 (2700K)
	LEDT31688N-LS1	LEDT31688L-LS1	LEDT21688N-LS1	LEDT21688L-LS1
適合光源	明るさ FCL30タイプ		明るさ FCL20タイプ	
	昼白色 (5000K)	電球色 (2700K)	昼白色 (5000K)	電球色 (2700K)
	交換部品形名 : L14	交換部品形名 : L15	交換部品形名 : L16	交換部品形名 : L17

このたびは東芝誘導灯をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。この商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載していますので、よくお読みください。

### 工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

#### ■ 施工上のご注意

## 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

### 禁止

器具の改造、部品の追加は絶対に行わない。  
(器具落下、感電、火災の原因)

直接、雨・風にあたる場所、振動や衝撃のある場所、腐食性ガス(塩素ガス・硫黄成分等)、溶液の発散する場所(プール等)、オイルミストが発生する場所等には使用しない。  
また、天井・壁内面にも粉塵の発生・滞留する場所(工場やトンネル内にある駅ホーム等)には使用不可。  
(器具落下、感電、火災の原因)

### 必ず実施

器具は、重量の耐えるところに、本体表示並びに取扱説明書の「器具の取付方法」に従って取り付ける。  
(取り付けに不備がある場合、器具落下、火災の原因)

電源線接続の際は、取扱説明書の「器具の取付方法」に従って行う。  
(接続が不完全な場合、接続不良による発熱、火災の原因)

指定方法で取り付ける。  
(取り付けに不備がある場合、器具落下、火災、感電の原因)

器具の取り付けの際は手袋を着用する。(ケガの原因)

アース工事(D種(第三種)接地工事)は、電気設備の技術基準に従い確実に行う。(感電の原因)

水の侵入がないように、原則凸凹のない面に取り付ける。凸凹面の場合は、コーキングして取り付ける。  
(防水性が損なわれると、絶縁不良、感電の原因)

カバー内に結露が発生しない場所に取り付ける。(取付面裏と室内の温度差がある・取付面裏からの防水処置をしていない・近隣にエアコンの吹き出し口があるなどの場合、水気が侵入すると、絶縁不良の原因)

雨線内の軒下など、雨が直接かからない場所に取り付ける。  
(雨が直接かかる場合、絶縁不良、感電の原因)

## 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

### 禁止

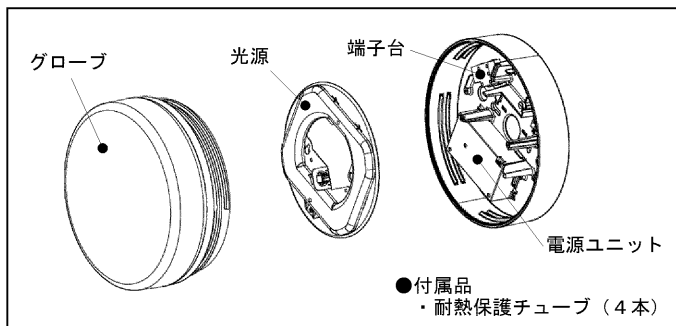
周囲温度 5℃~35℃以外では使用しない。(高温で使用すると、火災の原因)

表示された電源電圧(交流定格電圧±6%)以外で使用しない。(光源、電源ユニットの短寿命、火災の原因)

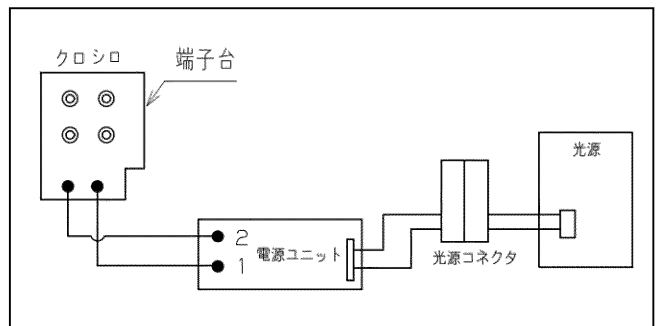
## お願い

・ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。

### ■ 各部のなまえ



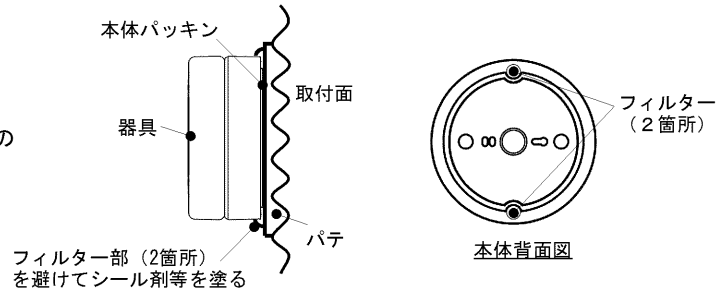
### ■ 結線図



## ■事前の準備と確認

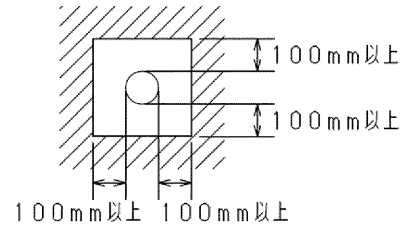
### 1 取付面を確認する

- ・電源線の引き込み部分から水気が浸入しないように防水処理を行う。
- ・取付面に凹凸面がある場合は、あらかじめパテ等で平滑処理を行うか、防水用シール剤等で器具と取付面のスキマをフィルター部を避けて埋めるようにする。
- ・取付面は、本体パッキンによりも大きくする。  
(防水が不完全な場合、感電・火災の原因)



### 2 器具周囲面との距離を確認する

- ・器具周囲面から100mm以上離す。  
(グローブの着脱を行うためのスペースを確保。)

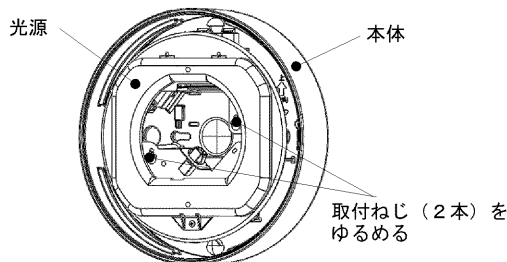


### 3 取付面より電源線・アース線を引き出す

## ■器具の取付方法

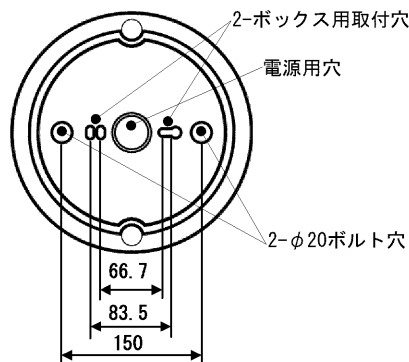
### 1 光源を本体から外す

- ・取付ねじ (2本) をプラスドライバーでゆるめ、光源を本体から取り外す。  
(光源は本体と仮吊りひもでつながっているため、光源のコネクタを外す必要はなし。)
- ・本体内にある付属品 (保護チューブ) を取り出す。



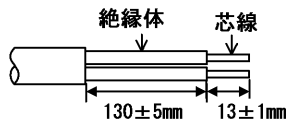
### 2 天井又は壁面に本体を取り付ける

- ・本体の電源用穴から電源線・アース線を引き込む。
- ・本体を取付ボルト、又は木ねじ (φ3.8・非榫) 又はビス (M4・非榫) で取付面に取り付ける。  
(取付ボルトはW3/8又はM10を使用し座金を必ず入れる。)  
(不備があると、器具落下の原因。)
- ※壁面に取付時は、器具の取り付けに方向性があるため、本体内面の取付方向の表示に従って行う。  
(指定方向以外の取り付けを行うと、感電・落下・火災の原因。)

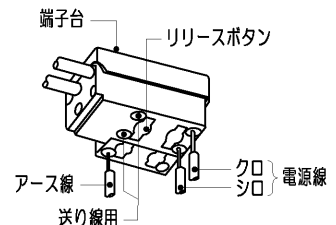
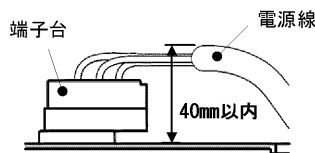


### 3 電源線・アース線を端子台に接続する

- ・電源線の被覆を所定の長さにストリップする。
- ・付属の保護チューブを電源線に被せる。  
(不備があると、感電・火災の原因。)
- ・電源線・アース線を端子台に確実に差し込む。  
(端子台の送り容量は13Aまで。容量を超えると、感電・火災の原因。)  
(リリースする場合は、必ずリリースボタンをドライバーで押し込んで線を引き抜くこと。  
不完全な場合とリリースボタン以外を押した場合は、接触不良による発熱、火災、感電の原因。)
- ・電源線の配線高さは、本体底面から40mm以内に収める。  
(たるみがあると光源が取り付けられない場合あり。)



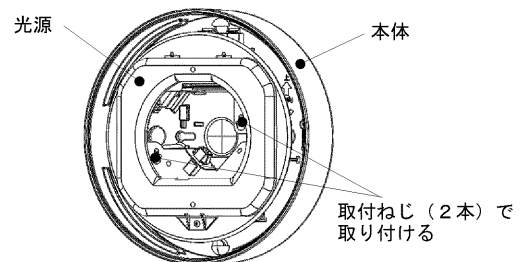
(適合電線 φ1.6, φ2.0 Cu単線)



アース工事(D種(第三種)接地工事)は、電気設備の技術基準に従い確実に行う。  
接続、保護が不完全な場合、感電、火災の原因になります。

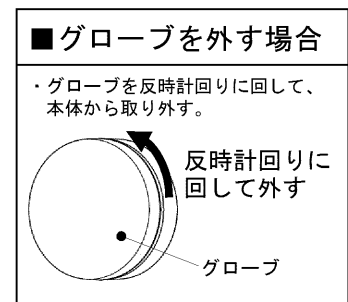
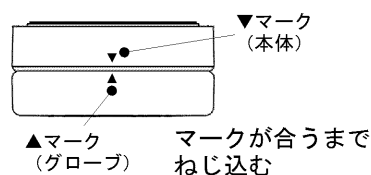
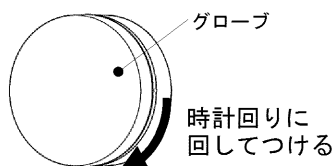
### 4 光源を本体に取り付け、電源を通電する

- ・光源のダルマ穴を本体の取付部に合わせて、プラスドライバーで取付ねじ(2本)を確実に取り付ける。(光源の配線が本体と挟み込まれないように注意する。)
- ・電源を通電し、器具が正常動作するか光源の確認を行う。



### 5 グローブを本体に取り付ける

- ・グローブのねじ口にグローブ用パッキンが入っていることを確認する。
- ・グローブを本体に対して水平にあてがい、時計回りに回して、本体表面の▼マークとグローブ表面の▲マークが合うまで、本体にねじ込んで確実に取り付ける。  
(取り付けが不十分な場合、グローブ落下・浸水による感電の原因。)

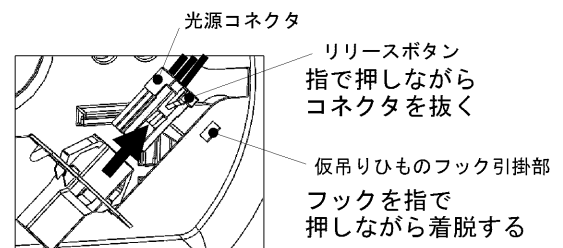


## ■光源の交換方法

電源を切ってから行ってください。

### 1 グローブと光源を本体から取り外す

- ・「器具の取付方法」を参照してグローブと光源を取り外す。
- ・光源のコネクタを光源から抜く。
- ・仮吊りひものフックを指で押ししながら、光源の引掛部から取り外す。



### 2 新しい光源を取り付ける

- ・仮吊りひものフックを指で押ししながら、光源の引掛部に取り付ける。
- ・光源のコネクタを光源に接続する。
- ・「器具の取付方法」参照して、光源を本体に取り付ける。
- ・電源を通電してと光源が点灯することを確認する。
- ・「器具の取付方法」を参照して、グローブを本体に取り付ける。

## ■ 器具定格・仕様

	LEDT31688N-LS1	LEDT31688L-LS1	LEDT21688N-LS1	LEDT21688L-LS1
電源	交流50Hzまたは60Hz 100V			
入力電流 消費電力 ※1	0.12 A 11.2 W		0.09 A 8.5 W	
光源 (交換部品形名)	LED 9W ×1 (L14)	LED 9W ×1 (L15)	LED 7W ×1 (L16)	LED 7W ×1 (L17)
質量	2.8 kg			

※1 点灯直後の入力電流、消費電力は若干高くなります。

## ■ 使用上のご注意

- ・この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- ・照明器具の電気工事は、主任電気工事士の管理が義務付けられています。

**警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

<p><b>必ず実施</b> お手入れの際は、必ず電源を切ってから行う。 (感電、やけどの原因)</p> <p>器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものに近づけたりしない。(火災の原因)</p>	<p>器具のすきまなどに針金などを差し込まない。 (ケガや感電、火災の原因)</p> <p>器具の改造、部品の追加は絶対に行わない。 (器具落下感電、火災の原因)</p>
---	---

**注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

<p><b>禁止</b> 点灯中および点灯直後(約30分)は、光源や器具に手を触れない。 (高温のためやけどの原因)</p>	<p><b>注意</b> 内蔵の部品によっては、器具寿命の前に交換するか定期的に工事店などの専門家による点検を実施する。この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、使用環境によって異なりますが、約10年です。</p> <p>点灯中、光源を直視しない。(目に悪影響を及ぼす原因)</p> <p>防水を目的に使用しているパッキンは、設置して10年経つと、使用環境によって劣化が進行し防水機能が低下する場合があります。定期的な点検と交換をお勧めします。</p>	<p><b>禁止</b> ガソリンやシンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけない。(変質、変色の原因)</p> <p>金属部分をクレンザーや、たわしでみがかない。(傷つけたり、腐食の原因)</p> <p>アルカリ系洗剤は使用しない。(強度低下による破損の原因)</p>
--	--	--

**お願い**

- ・光源の寿命は40000時間です。周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合などでは寿命が短くなります。

## ■ お手入れ時の注意のしかた

**注意** この説明を無視して、誤った取扱いをすると人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

<p><b>注意</b> 器具が汚れたときは、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってからふきとる。</p> <p>器具のお手入れは、必ず電源を切ってから行う。</p>	<p><b>禁止</b> ガソリンやシンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけない。(変質、変色の原因)</p> <p>金属部分をクレンザーや、たわしでみがかない。(傷つけたり、腐食の原因)</p> <p>アルカリ系洗剤は使用しない。(強度低下による破損の原因)</p>
---	--

・照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。

・1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。  
(「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。)

・点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。


**保証とアフターサービス**

弊社ホームページに掲載のメーカー保証規程をご確認ください。  
修理を依頼される場合は『修理サービス規程』をご確認ください。


メーカー保証規程 : [https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty\\_policy.htm](https://www.tlt.co.jp/tlt/support/warranty/warranty_policy.htm)

修理サービス規程 : [https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair\\_service/repair\\_policy.htm](https://www.tlt.co.jp/tlt/support/repair_service/repair_policy.htm)

ご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または弊社ご相談センターにお問い合わせください。その際は商品の形名、お買い上げ時期、故障の状況などをお知らせください。



メーカー保証規程



修理サービス規程

<p><b>保証について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メーカー保証期間は、商品お買い上げ日より(引き渡し日)3年間です。但し、リモコンなどの付属品は、製品の保証期間にかかわらず、1年間です。</li> <li>・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。</li> </ul>	<p><b>補修用性能部品の保有期間</b></p> <p>弊社は、照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。</p> <p>※補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。</p> <p>※材料の終息等により、保有期間前に修理できない場合があります。</p>
--	--

**修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は**  
お買い上げの販売店へご相談ください。  
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

**東芝ライテック商品ご相談センター**

**0120-66-1048** (通話料: 無料)  
携帯電話 046-862-2772 (通話料: 有料)  
FAX 0570-000-661 (通信料: 有料)  
ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供する場合があります。

**日本国内専用**  
Use only in Japan

**東芝ライテック株式会社** 〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになった後も必ず保管してください。